

GeoPARK



阿蘇ジオパークの魅力をもっと理解しやすく伝えるために、3つのテーマをもとにジオツーリズムをご紹介します。



◎巨大カルデラに刻まれた噴火の記憶

阿蘇ジオパークの象徴である世界有数の巨大カルデラ。約27万年前以降の活発な火山活動と、約9万年前の大噴火によって形成された独特の地形や地層、噴火がもたらした日本各地への影響などを、ジオサイトを通じて理解していきます。

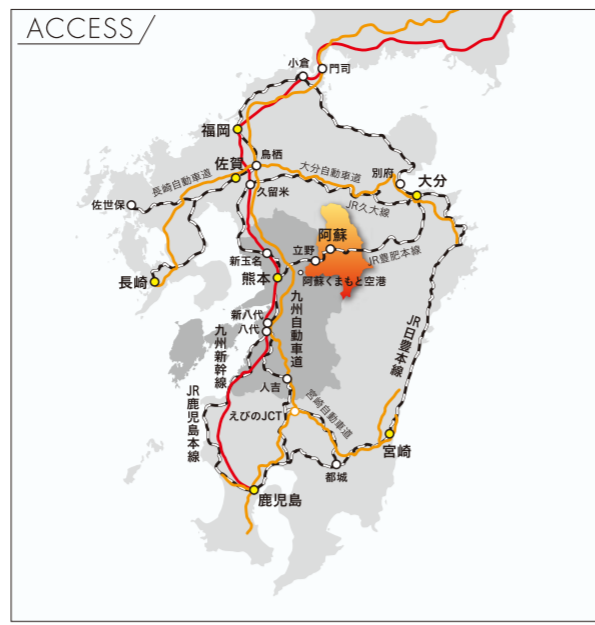
◎地球の息吹を間近に感じる中岳火口



カルデラ内にある火山群の中でも、有史時代を通じて今日にいたるまで、活発な活動を繰り返してきた中岳火口にスポットを当てます。中岳火口に見られる周辺地域の特殊な景観、生態系、さらに活動火山と共生する人々の姿をご紹介します。

◎火山がもたらした恵みと人々の暮らし

活動火山とともに暮らす人々は、自然との共生をはかり、火山に畏敬の念を抱き、そして独自の文化・生活を築いてきました。また、火山地帯によく見られる湧水や温泉など、自然は人々に大きな恵みをもたらしてきた存在でもあります。



九州各県から阿蘇ジオパークへのアプローチ

列車	所要時間	路線
福岡	九州新幹線 最速33分	博多駅 → 熊本駅 → 立野駅 → 阿蘇駅
佐賀	長崎本線/特急 約14分	佐賀駅 → 新鳥栖駅 → 熊本駅 → 立野駅 → 阿蘇駅
長崎	長崎本線/特急 約1時間32分	長崎駅 → 新鳥栖駅 → 熊本駅 → 立野駅 → 阿蘇駅
大分	豊後本線/特急 約1時間3分	大分駅 → 豊後竹田駅 → 阿蘇駅
宮崎	高崎バス(バス代行) 約2時間10分	宮崎駅 → 新八代駅 → 熊本駅 → 立野駅 → 阿蘇駅
鹿児島	九州新幹線 最速43分	鹿児島中央駅 → 熊本駅 → 立野駅 → 阿蘇駅

高速バス	所要時間	路線
福岡市内	約1時間44分/1日100往復	福岡市内 → 熊本駅 → 阿蘇駅
北九州市内	約3時間/1日6往復	北九州市内 → 熊本駅 → 阿蘇駅
長崎市内	約3時間22分/1日8往復	長崎市内 → 熊本駅 → 阿蘇駅
宮崎市内	約3時間14分/1日14往復	宮崎市内 → 熊本駅 → 阿蘇駅
大分市内	約2時間/1日10往復	大分市内 → 熊本駅 → 阿蘇駅



【阿蘇ジオパーク推進協議会】熊本県、阿蘇市、南阿蘇市、小国町、高森町、南阿蘇村、高森町、高森町、阿蘇エコツーリズム協議会、国立阿蘇青少年交流の家、ASO国定自然博物館、阿蘇ミュージアム、なみの高原を守る会交流館、阿蘇自然館、阿蘇たけのこ博物館、阿蘇地蔵堂、阿蘇地蔵堂の会、阿蘇観光協会、南阿蘇観光協会、小国観光協会、阿蘇観光協会、高森観光協会、南阿蘇観光協会、山都観光協会、阿蘇火山博物館、熊本大学、京都大学山部センター、熊本大学、熊本県地産地消推進委員会、阿蘇の自然を愛する会、自然公園阿蘇阿蘇支所、阿蘇グリーンセンター、阿蘇地産地消デザインセンター、阿蘇青年会議所、くまもと21の会、日本リモナイト

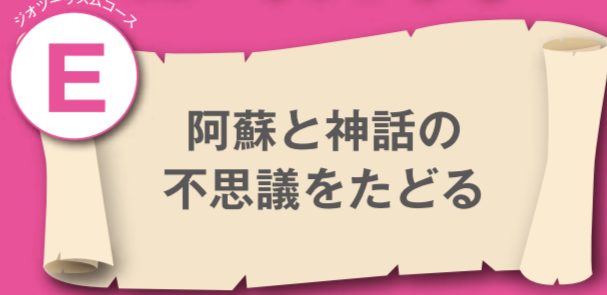
阿蘇ジオパーク推進協議会
〒869-2232 熊本県阿蘇市赤水1930-1 阿蘇火山博物館1階
TEL.0967-34-2089 FAX.0967-34-2090 http://www.aso-geopark.jp

阿蘇ジオパーク 検索 平成23年度環境省地域コーディネーター活用事業



ASO GeoPARK
阿蘇ジオパーク

ジオツーリズム コースマップ



阿蘇は、生きている。

～阿蘇火山の大地と人間生活にふれる、時空を超える旅～



ASO Geo

阿蘇ジオパーク



阿蘇火山の大地と人間生活。

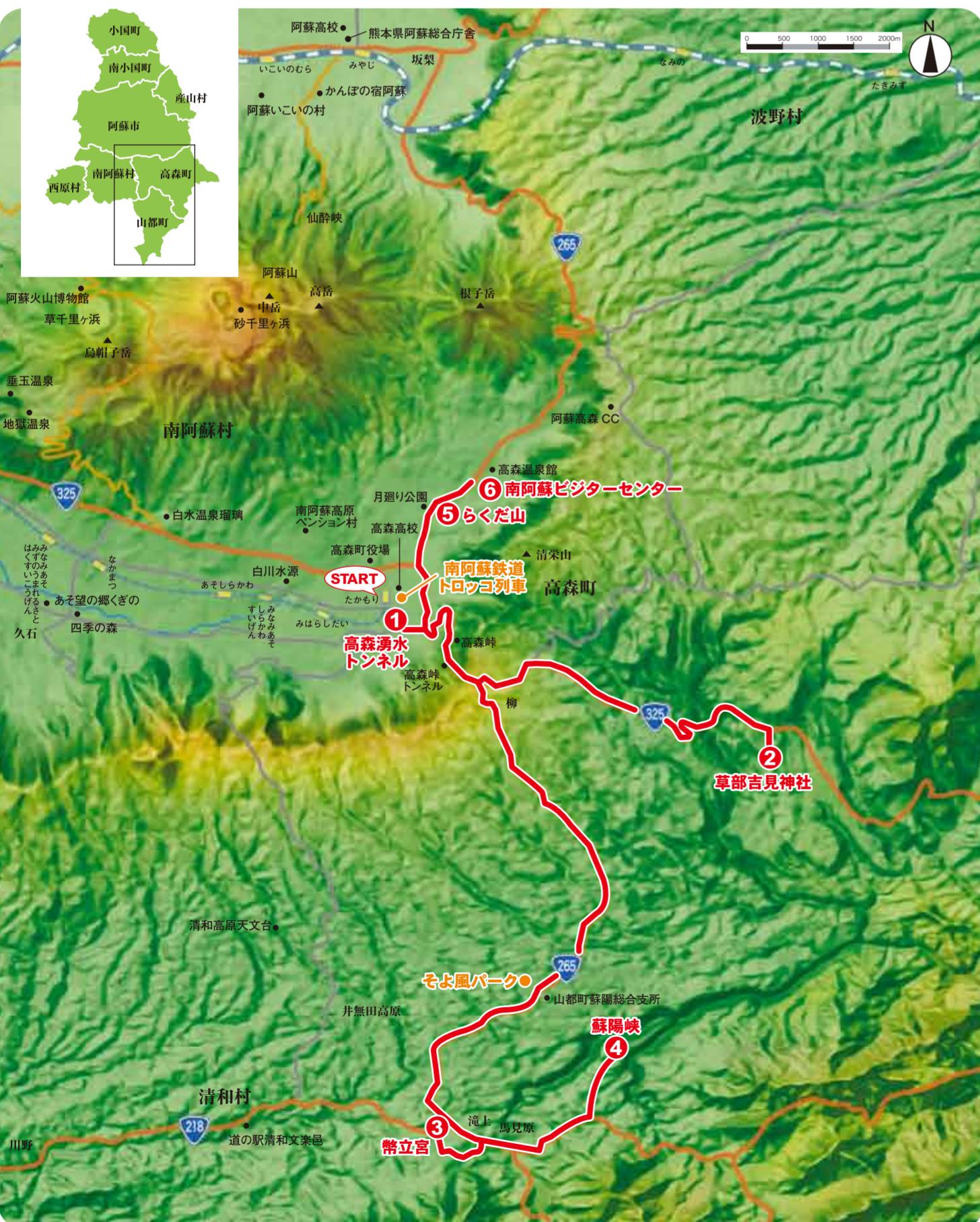
九州の中部にある阿蘇カルデラは、東西約18km、南北約25km、面積は約350km²と、世界最大級の規模を誇り、このなかには現在も噴煙を上げ続けている中岳をはじめ、高岳、根子岳、杵島岳、烏帽子岳の阿蘇五岳と、多くの山体で構成される火山群があります。火山群の南北の山麓には平地が広がり、火山群と平地を取り巻く外輪山は外側になだらかな火砕流台地を形成しています。この阿蘇特有の地形をつくりだしているのは、約27万年前以降の活発な火山活動を繰り返してきた阿蘇火山です。阿蘇ジオパークにおける最大のテーマは、この阿蘇火山の大地がどのようにしてできたのかを学び、大地からもたらされる恵みを受け、人々がどのような生活を営み、特有の文化と景観を育んできたのか。阿蘇火山の大地の成り立ちと、人間生活の関わりに対する理解を深めることにあります。



ストロンボリ現象

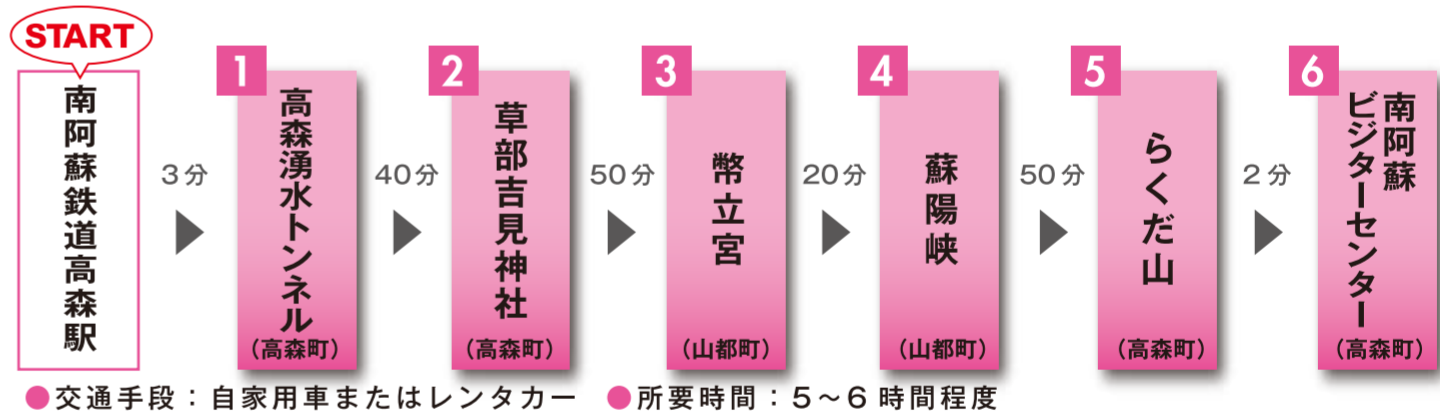
■ジオパークとは

地球や大地の営みを科学的に観察し、地層や岩石、地形、火山、断層など、特別に貴重で美しい自然遺産が数多く存在する地域を、「ジオパーク(大地の公園)」といいます。ジオパークは、その保護と活用を重視し、そこで暮らす人々の文化を含めた自然遺産を通じて、ジオ(地球・大地)に親しみ、その成り立ちと仕組みに気づき、生態系や人間生活との関わりを考える場所なのです。ユネスコの支援によって2004年に設立された世界ジオパークネットワークによって、世界各国で推進されています。



阿蘇と神話の不思議をたどる

阿蘇には阿蘇開拓の神、健甕龍命(たけいわたつのみこと)にまつわるさまざまな神話が残されています。それらは、阿蘇の地形や地名、伝統行事や人々の暮らしと密接に関係しています。阿蘇と阿蘇に伝わる神話の不思議をたどるコースです。



1 高森湧水トンネル (高森町)



高森町と宮崎県高千穂町を結ぶ鉄道用のトンネル工事が昭和48年(1973年)に着工されたものの、昭和52年2月に大量の出水に見舞われ中断。この湧水を活用した「湧水トンネル」は、約2kmの長さで毎時32トンの湧水量があります。

4 蘇陽峡 (山都町)



阿蘇カルデラの南東側、外輪山に連なる標高550mの峡谷。約15kmにわたる峡谷底を五ヶ瀬川が流れています。峡谷の幅は200～300mあり、谷壁は阿蘇火砕流堆積物(溶結凝灰岩)で構成される急斜面。高さは200mに及ぶほどです。

2 草部吉見神社 (高森町)



神武天皇の第一皇子、日子八井命(ひこやいののみこと)他12柱を祀っている阿蘇神社の三の宮。草部の名は、宮居の壁を草で葺いたことに由来します。社殿が鳥居より下にある「下り宮」と呼ばれる珍しい配置で、日本三大下り宮のひとつに数えられています。

5 らくだ山 (高森町)



カルデラ壁の南東部を構成する先阿蘇火山岩(玄武岩質火砕岩類)を切つて貫入した岩脈。南北から眺めると岩体上部の起伏がラクダの背のように見えることからこの名前に。岩脈の外観面や断面の柱状節理の形状を近くで観察できます。

3 幣立宮 (山都町)

延喜年間(901～923年)に、阿蘇の大宮司が天照大神(あまてらすおおみかみ)を主祭神として祀つたとされています。元伊勢宮として、祖神を天之御中主とする日の神が祀られています。



6 南阿蘇ビジターセンター (高森町)

自然と人々の暮らしを紹介している施設。阿蘇の多種多様な植物を、自然に近い状態で観察できるように整備した「阿蘇野草園」を案内したり、観察会を実施するなど、自然とのふれあいを楽しめる活動が行われています。



ASO GeoTourism
立ち寄り
スポット

癒しが満載の自然型テーマパーク

そよ風パーク

ホテル・レストラン・物産館・浴場・体験工房・ふれあい農園など、各種施設が充実。食から遊びまですべてを楽しめます。

[TEL] 0967-83-0880



日本一の小さな機関車で、のんびりと阿蘇の旅!

南阿蘇鉄道 トロッコ列車

南阿蘇の大渓谷を走るトロッコ列車。特殊車両には窓がなく、さわやかな風を体中で感じながら、阿蘇への旅を楽しんでみませんか。

[TEL] 0967-62-0058 (南阿蘇鉄道 高森駅)

